

情報ラボ 第4章 ネットワーク 基礎問題 1

【解答】

②データやシステムの可用性を高める冗長化

【解説】

情報セキュリティの要素である機密性、冗長化、2段階認証、可用性の中で、システムの停止時間を短縮し、サービスへの影響を最小限に抑える目的で導入される技術は、冗長化です。

機密性を確保するための暗号化技術は、データの秘匿性を保護するために使用されますが、システムの停止時間には直接関係ありません。

冗長化は、システムの可用性を高めるために用いられる技術で、障害発生時に他のシステムが代替として機能することで、サービスへの影響を最小限に抑えます。

2段階認証は、アカウントのセキュリティを向上させるために使用される技術で、システムの停止時間とは直接関係ありません。

データの完全性を保つためのバックアップ手法は、データの喪失を防ぐために用いられますが、システムの停止時間には直接関係ありません。



当問題及び解答解説およびプリントの
著作権は藤原進之介に属します。